

質の高い 学力をばぐむ

子どものための京都式少人数教育

- 小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能な教員を配置し、市町（組合）教育委員会が子どもや学校の状況に応じて、少人数教育の手法を選択し実施します。
- 小学校1・2年生ではチームティーチングを行うなど、きめ細かな学習・生活指導を推進します。

効果の上がる学力対策

- 小学校4・5年生対象の個別補充学習により、学習のつまずきの早期解消を図ります。
- 中学校1年生対象の振り返り集中学習により、小学校段階の学習のつまずきの早期解消を図ります。
- 中学校2年生対象の学力アップ集中講座により、基礎・基本の徹底や発展学習に取り組みます。
- つまずき部分を明らかにし、さかのぼって復習ができる自動学習計画システムにより、基礎学力の定着を図ります。
- 理科支援員の配置や大学教授などによる指導助言を行うことで、理科の学力向上を図ります。

大学との連携

- 数多くのノーベル賞受賞者を輩出し、豊かな研究基盤を持つ大学が集まっている京都の強みを生かし、子どもたちの知的好奇心をはぐくむ取組を行います。
- 大学からの出前授業や、大学での体験授業
- 大学の研究員などと府立高校生の共同研究（スクールラボ）
- 教師を目指す大学生を対象とした学校インターンシップ
- 大学が持つ最新の教育情報を活用した授業力向上のための教員研修
- 「京都数学グランプリ」や「京都科学グランプリ」の開催



個性や能力を 最大限に伸ばす教育

共生社会の実現

夢に応えられる府立高校づくり

- 科学技術分野で活躍できる人材の育成や国際社会に貢献できるリーダーの育成、社会・経済構造の変化に対応できる人材の育成などを目的としたスーパーサイエンスネットワーク、グローバルネットワーク、スペシャリストネットワークを推進します。
- 地域創生・地域連携をはじめとする特色ある活動や効果的な取組を京都フロンティア校支援事業にて推進します。

「地域創生推進校」の指定により、地域に愛着を持ち貢献する人材を育成
ICT活用による、進学予備校のコンテンツを活用した学習指導の実施



オリンピック・パラリンピック教育

- 2020東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、スポーツ文化の広がりや共生社会の実現を目指した取組を推進します。

- 「京都府スーパーサポートセンター（SSC）」を拠点に、専門的な研修、研究、教育相談を行い、発達障害を含む障害のある子どもたちへの、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を総合的に推進します。

- 清掃、接客、介護などの業界団体と連携した「しごと検定」の普及や、特別支援学校高等部への職業学科設置により、生徒の就業意欲や企業就労率の向上を図ります。



- 府立高校では、聴覚に障害のある生徒に対して、学習補助システムを活用した授業を行います。

- 府南部地域での特別支援学校の施設整備を進めるとともに、インクルーシブ教育を推進するためのネットワークを構築します。

京の子どもダイヤモンドプロジェクト

- 優れた資質のあるジュニアスポーツ選手を発掘し、国際舞台での活躍とその経験を活かして社会貢献ができる人材に育成します。

子どもの未来を守る

安心・安全で 充実した 教育環境づくり

- すべての子どもが夢や希望を持って成長していける環境づくりのために、学校や子どもが抱える課題解決に向け、教育や福祉の専門家（スクールソーシャルワーカーなど）を派遣・配置します。
- 地域住民の協力により原則無料の学習支援を行う「地域未来塾」や、学校での個別補充学習などで学力向上を図り、希望進路の実現につなげます。
- 就学支援金、奨学のための給付金、修学資金貸与などにより、高校生へのきめ細かな学びのサポートを充実します。

不登校に対する支援

- 教室に入りにくい子どもに相談・学習支援を行う「心の居場所サポーター」を配置します。
- フリースクールなどで学ぶ不登校の子どもの支援や、適応指導教室の設置・機能拡充への支援を行います。
- 学校に行きにくい状況にある子どもを対象に、自然の中での集団宿泊体験を通じて自立への力や登校する力を育てる取組を推進します。
- 京都府認定フリースクールの教育活動を支援します。

いじめ、少年非行防止の対策

- 「いじめ未然防止・早期解消支援チーム」を設置し、学校はいじめ防止対策のチェックや、早期解消に向けた支援を行います。
- いじめや非行などの早期発見、早期解消のため、すべての児童生徒にアンケートを行います。
- スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー（スクールソーシャルワーカー）などを学校へ配置するとともに、24時間相談窓口を設置し、相談体制の充実を図ります。

自転車の交通安全指導

- 自転車運転の危険性を間接的・擬似的に体験しながら学習できる「自転車セーフティーガイダンス」により、各校における自転車交通安全指導を促進します。

よりよい社会の 構築に向けて



- 社会参画意識の醸成を図るため、府立高校生が通学路の見守り活動や清掃活動、災害被災者への支援など様々なボランティア活動に取り組み、地域とつながり、地域社会の活性化に貢献する取組を推進します。



- 法をはじめ、実生活でのルールや決まりについて、自ら考え理解したうえで、態度や行動に移す能力をはぐくむため、各校で実践的な取組を進めます。

- デベートや模擬選挙などの活動を行い、主権者として必要な政治的教養をはぐくみます。

たくしく健やかな 身体づくり

- 身体動作の獲得状況を把握できる指標「京の子ども元気なからだスタンダード」の活用促進や、幼少期から子どもが積極的に体を動かす習慣を身に付けるための取組を推進し、子ども一人一人の発達段階に応じた体力・運動能力の向上を図ります。
- すべての学校で食育を推進するための支援策や、和食や地域の食文化の理解に向けた方策について検討を行い、成果を各学校に普及させます。
- 警察や学校薬剤師と連携した薬物乱用防止教室や教員研修の更なる充実により、薬物乱用の防止・根絶に向けた教育を推進します。

